# 【非構造部材に関する国際ワークショップ SPONSE2026】開催のご案内

石膏ボード工業会が協賛します『非構造部材に関する国際ワークショップ 「SPONSE2026」』が開催されます。

非構造部材の天井や、間仕切り壁など我が国の高い技術力を発信の機会ですので、ぜひともご参加下さい。

日 時：2026 年 3 月 11 日（水）～13 日（金）

場 所：東京科学大学・すずかけ台キャンパス

アブストラクト投稿期間：2025 年 7 月 13 日

＜SPONSE2026 サイト＞ https://www.sponse2026.com/

# 国際ワークショップ（SPONSE）の目的、および学術的意義

現行の建築基準法にて求めている耐震性能は、建物の倒壊防止による人命の保護である。しかしながら、社会の高度化に伴って大地震時にも建物の機能を維持し、社会活動を継続できることが求められている。したがって、建物において主として外力に抵抗する構造骨組のみならず、天井や間仕切り壁、あるいは建築設備機器といった、いわゆる“非構造部材（Non-structural components）”の損傷を抑制することが求められている。これは建築物の建設コストの80%程度が非構造部材であることから、地震後の復旧費用にも大きくかかわり、例えば2011 年 東日本大震災、2016 年 熊本地震では、外力の抵抗要素である構造骨組の損傷が軽微であったにもかかわらず、非構造部材の甚大な損傷を受けたことで取り壊しに至った建物も存在する。また、2011 年 東日本大震災における人的被害を契機とし、特定天井と呼ばれる、一定の条件に該当する天井の耐震設計が義務づけられるようになっている。大地震によって建物がその機能を喪失する事例が散見され、我が国においても “非構造部材”の高耐震化研究が重要であるとの認識が広がりつつあり、大学等教育研究機関のみならず、産業界との協働によって進められているところである。

国際的にはSPONSE Association（http://www.sponse.eu/）は、⑴非構造部材の耐震性能に関する研究の推進、⑵非構造部材の耐震性能に関する教育の推進、⑶非構造部材の耐震性能に関連する研究成果や技術開発の普及支援、および⑷非構造部材の耐震性能に関心を持つ産学、専門家、その他の関係者の連携促進をミッションとして設立された。また、先に述べたように学術研究に特化せず、むしろ実践的研究を推進すべきとの観点から、非構造部材の耐震性能に関心を持つエンジニア、建築家、メーカー、保険会社、建設業者、プランナー、公務員、社会科学者からなる国際的な非営利技術協会として位置づけており、研究・教育機関、保険団体、非構造部材メーカー、エンジニア、建築家、建設業者、実務専門家、教育者、政府関係者、建築基準法規制者を含む個人など、幅広いバックグラウンドからの会員を歓迎している。

他の耐震研究に比べると新しい組織ではあるが、過去に5 回の国際ワークショップ（international workshop on SPONSE）を世界各地で実施してきた。この度、SPONSE Association 幹事会にて我が国での開催が決定し、日本にて初めてSPONSE の会合が行われることになった。我が国は世界でも有数の地震発生国であり、世界をリードする高い水準の耐震技術を有している。しかしながら、言語の問題を含めて国際的な発進力が必ずしも高くなく、耐震技術のガラパゴス化も指摘されている。特に“非構造部材”にかかわる耐震技術は、最近になってようやく大学等教育研究機関との連携から科学的根拠に基づいた研究開発やその発信をすすめているものの、その根幹は国内メーカーが独自に研究開発を進めてきたものである。今回の“非構造部材”にかかわる国際ワークショップを我が国で開催することは、日本の高い耐震技術を世界に発信・共有を強力に支援するチャンスであるが、それと同時に国内メーカーを含め、国際標準や世界的な動向を知り、己を研鑽する機会となるものである。

国際運営組織

SPONSE（International Association for the Seismic Performance Of Non-Structural Elements）__